

- 田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 柳沢公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
- 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

- ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

秋原 バンドを始めたのはいつごろから。
吉田 中学生のころ。中3の秋に受験もあったので、いったんやめました。
藤木 中一の終わりのころから始

高校生座談会 「初夢を語る」 西東京でもっと音楽したい♪

コーディネーター 秋原 建次郎
(駒沢大学准教授・西東京市公民館運営審議会委員)
吉田 史香 (芝久保町在住)
藤木 透馬 (柳沢在住)
湯本 耀介 (新町在住)



現できる場所が今の人々には必要な
吉田 そうですね。市内にもっとあったらうれしいです。
湯本 高校生になると、将来にかかわる夢がある。その夢を地域で実現できる西東京市であってほしい。
藤木 他の市にはないものがあればよい。西東京市には、あれがあつていいな、といわれるようなところになってほしい。特にライブのできる場所があればいい。
吉田 バンドの練習など、音が出せる場所が田無のほうにあつたらいい。
秋原 コミセンという場所がひとつ大事な場所として西東京市にはある。それだけではなく、もっと若い人たちの夢が実現できるような、活動を応援してくれるような場所がもっと身近なところになつてもいい。
また音が出せる場所の確保。大きな音、自分たちを表現する時に、音で大事であると感じます。言葉でない、言葉で語りきれないものがそこにはあると思います。そういうところに、社会が、大人が理解を示し、音を出せる場所を地域に作り上げる必要があると思います。長い時間いると話を聞かせていただきましてありがとうございます。
大人たちへ、そして、地域へのメッセージとして、高校生に夢を語ってもらいました。
21世紀の未来を担う高校生がこの西東京市を舞台に大きく羽ばたき、夢の実現が図れるか、それを地域や大人がどれだけ応援できるのか、この座談会から提案したいと思ひます。